

そやどのごへんじ
曾谷殿御返事

御書新版 1435頁 12行目〜13行目
御書全集 1056頁 13行目〜15行目

じやうぶしやうじんしやう
(成仏用心抄)

この法門を日蓮申す故に、忠言耳
に逆らう道理なるが故に、流罪せら
れ、命にも及びしなり。しかれども、
いまだこりず候。法華経は種のごと
く、仏はうえてのごとく、衆生は田
のごとくなり。

通解

この法門を日蓮が説くので、
“忠言は耳に逆らう”という
のが道理であるから、流罪に
処され、命の危険にも及んだ
のである。しかしながら、い
まだ懲りてはいません。法華
経は種のようにあり、仏は植
え手のようであり、衆生は田
のようである。

語句

ちゆうげんみみ さか
忠言耳に逆らう

こうし げんこう
孔子の言行などを記した『孔子家語』に「忠言耳に逆らう」とある。
まごころ ちゆうこく ことば
真心からの忠告の言葉は、欠点や過ちを鋭く指摘しているゆえに、忠
こく すなお い き
告された人は素直に聞き入れにくい、という意。